和歌山県教育委員会 資料提供
令和７年４月30日

重要文化財　和歌山県大日山35号墳出土品の保存修理完了に伴う展示について

県立紀伊風土記の丘では、重要文化財和歌山県大日山35号墳出土品の埴輪及び須恵器の保存・活用をおこなっており、このたび、令和４～６年度の三か年をかけて保存修理事業を実施した３分割焼成の家形埴輪、胡籙形埴輪の修理が完了し、資料館常設展示室への展示を再開しましたので、お知らせいたします。

和歌山県大日山35号墳出土品は、特別史跡岩橋千塚古墳群に所在する県内最大級の前方後円墳・大日山35 号墳（６世紀前半に築造）から出土した埴輪と須恵器の一括資料です。

このうち３分割焼成の家形埴輪は、入母屋造屋根をもつ高床式の家を模した埴輪で、復元高が152cmと全国でも有数の高さを誇る大型品です。胡籙形埴輪は、矢を入れる武具である胡籙を模した埴輪で、全体像が判明したものとしては、全国ではじめてのものです。

これらの資料は、平成15～17年度の発掘調査で出土した後に、当館の整理作業により復元され活用が図られてきましたが、復元時の接着剤及び充填剤の劣化が進んだため、専門機関（（公財）元興寺文化財研究所）に委託して解体修理と復元・補彩を実施しました。

当館では、今後も同様の保存修理事業を継続し、文化財の保存・活用を図ります。

胡籙形埴輪（左：修理完了後・右：修理前）

３分割焼成の家形埴輪

（左：修理完了後・右：修理前　*モデルは増渕徹館長）

（連絡先）
県立紀伊風土記の丘　学芸課
担　当：萩野谷・田中
電　話：073-471-6123